

芦屋町町制施行 130 周年 記念事業報告書



令和 5 年 3 月
芦 屋 町

1. 事業の目的

明治 24 年 6 月 10 日に発せられた県令によって許可された芦屋町の誕生から、令和 3 年に 130 周年の節目を迎えました。この節目を、輝かしい未来への確かな一歩を踏み出すスタートとし、芦屋町町制 130 周年記念事業を実施しています。

2. 実施期間

令和 3 年 4 月 1 日（木）～令和 4 年 3 月 31 日（木）

3. 記念事業の検討過程

政策会議及び課長会議（令和元年～2 年）

	開催日	名称	内容
1	令和元年 11 月 25 日	政策会議	企画書（案）審議
2	令和 2 年 3 月 16 日	課長会議	町制 130 周年事業調査依頼（※切：5/29（金））
3	令和 2 年 7 月 22 日	政策会議	事業（案）審議①
4	令和 2 年 10 月 14 日	政策会議	事業（案）審議②（事業決定）
5	令和 2 年 11 月 4 日	課長会議	実施事業の報告

4. 記念事業の周知（情報発信）

(1) 広報紙による周知

- 広報あしや令和 3 年 1 月 10 日号 ログマークの募集
- 広報あしや令和 3 年 4 月 1 日号 ログマーク決定、記念事業のお知らせ
- 広報あしや令和 3 年 8 月号 町制施行 130 周年企画（歴史年表及び写真）

(2) ホームページによる周知

町トップページのトップクスに、町制施行 130 周年記念バナーを設け、HP 閲覧者に対し、町制施行 130 周年を周知しました。

(3) ロゴの活用

町の関係事業や、町の指定した者の活動等で幅広く使用し、町全体での機運醸成を図りました（営利・非営利を問わず、販売物、配布物、印刷物やイベント等での使用）。

◆ログマーク



○作者

鹿児島県在住の男性

○コンセプト

芦屋町が未来に向けて更に飛躍・躍進すること、芦屋町への愛着を深め、町内外に魅力を発信し、さらに節目の年を町民一緒に祝い、盛り上げていくことを願い、デザインしています。

○作品の説明

130周年の「130th」を基調に、「ashiya」の頭文字「a」、芦屋町を表す特徴的な要素である町花、町木、芦屋釜や芦屋町民、太陽を組み合わせてデザインし、芦屋町が永遠（無限＝∞）に発展することを表しています。

5. 記念式典の実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

令和3年10月24日（日）第64回芦屋町町民体育祭プログラム内で、善行表彰や精華女子高等学校吹奏楽コンサートを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第64回芦屋町町民体育祭は中止となりました。

6. 町制施行130周年記念善行表彰の実施

令和3年11月1日（月）令和3年度功労者表彰、善行表彰を併せて実施しました。

※令和3年10月24日（日）第64回芦屋町町民体育祭内で善行表彰を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、表彰のみ別途実施することとなりました。



7. 実施事業

(1) 総事業費：5,988 千円

※芸術文化振興基金助成金 307 千円

※その他収入 274 千円 一般財源 5,407 千円

○特別事業（シンボル事業）

No.	イベント名	実施日・期間	会場	来場者	備考
①	町制施行 130 周年記念式典	中止	総合運動公園 中央グラウンド	—	第 64 回芦屋町町民体育祭プログラム内で実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ※善行表彰は 11/1（月）別途実施
②	町制施行 130 周年記念特別展「重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600 年の系譜～」	前期：令和 3 年 4 月 22 日（木） ～5 月 23 日（日） 後期：令和 3 年 5 月 25 日（火） ～6 月 27 日（日） ※緊急事態宣言により、令和 3 年 5 月 12 日（水）～6 月 21 日（月） 臨時閉園	芦屋釜の里	1,719 名	重要文化財指定芦屋釜の新収蔵を記念した特別展を開催
③	町制施行 130 周年記念 NHK ラジオ番組「真打ち競演」公開収録	令和 3 年 12 月 3 日（金）	あしや夢リアホール	259 名	漫才・漫談・落語などの公開演芸番組「真打ち競演」の公開収録を行いました。

○特別事業（企画事業）

No.	事業名	実施日・期間	会場	実績等	備考
④	芦屋音頭の再録音	令和4年3月	—		
⑤	芦屋サンバの再録音	令和3年10月	—		芦屋町ふるさと観光大使であるハジローさんに制作していただいた。
⑥	ロゴマークの作成	令和3年3月	—	応募者14名 応募件数27件	
⑦	広報あしや特集記事	令和3年8月号	—		歴史年表及び写真
⑧	ポロシャツの製作	令和3年4月～5月	町内6箇所 販売	製作数 1,000枚	
⑨	フォトコンテスト	令和3年4月1日（木）～令和4年1月14日（金）	—	応募者77名 （町内者26名、町外者51名） 応募件数306件	受賞作品16作品 （最優秀賞1作品・優秀賞1作品・入賞1作品・入選12作品・審査員賞1作品）
⑩	芦屋かるたの製作	令和4年3月	芦屋歴史の里 等で販売		郷土史研究会と調整

○冠事業（町主催イベント）

No.	イベント名	実施日・期間	会場	実績等	備考
⑪	あしや花火大会	中止	芦屋橋周辺	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
⑫	あしや砂像展	中止	芦屋海浜公園	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
⑬	小中合同音楽祭	中止	芦屋中学校	—	
⑭	芦屋釜の里秋のコンサート	中止	芦屋釜の里	—	
⑮	芦屋町民茶会	中止	芦屋釜の里	—	
⑯	町制施行130周年記念第12回芦屋町長杯争奪戦	令和3年6月20日（日）～6月25日（金）	ボートレース 芦屋	—	

⑰	ボートレース芦屋「ちびっこカーニバル」	中止	ボートレース芦屋	—	
⑱	芦屋町敬老会	中止	あしや夢リアホール	—	
⑲	芦屋町人権まつり	中止	芦屋町町民会館	—	
⑳	第 64 回芦屋町町民体育祭	中止	総合運動公園中央グラウンド	—	
㉑	ギャラリーあしや特別展「一町制 130 周年記念—田中繁吉展」	令和 3 年 11 月 27 日 (土) ~12 月 26 日 (日)	ギャラリーあしや	202 名来場	
㉒	歴史民俗資料館特別展「矢野倅一展～探求心と技術者の魂～」	令和 3 年 10 月 27 日 (水) ~令和 4 年 1 月 30 日 (日)	芦屋歴史の里	1,914 名来場	
㉓	図書館講演会	令和 3 年 12 月 12 日 (日)	芦屋町図書館	41 名来場	

○冠事業（各種団体主催イベント）

No.	イベント名	実施日・期間	会場	主催
㉔	芦屋町国際交流パーティー	中止	町民会館	芦屋町国際交流協会
㉕	祭りあしや	中止	芦屋海浜公園	祭りあしや実行委員会
㉖	筑前あしやはしご酒まつり	中止	町内各所	芦屋町商工会、筑前芦屋はしご酒まつり実行委員会
㉗	筑前あしやだごびーなとわら馬まつり	令和 3 年 10 月 1 日 (金) ~10 月 24 日 (日) ※最終日の無料配布は中止	町内各所	筑前あしやだごびーなとわら馬まつり実行委員会
㉘	ASHIYA シンフォニック吹奏楽団定期演奏会	中止	町民会館	ASHIYA シンフォニック吹奏楽団

◆事業内容

○特別事業（シンボル事業）

No.②町制施行 130 周年記念特別展「重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600 年の系譜～」

実施日：前期 令和 3 年 4 月 22 日（木）～5 月 23 日（日）

後期 令和 3 年 5 月 25 日（火）～6 月 27 日（日）

※緊急事態宣言により、令和 3 年 5 月 12 日（水）～6 月 21 日（月）臨時閉園

会 場：芦屋釜の里

来場者：1,719 名

成 果：重要文化財指定芦屋釜の新収蔵を記念した町制施行 130 周年記念特別展「重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600 年の系譜～」を実施しました。



No.③町制施行 130 周年記念 NHK ラジオ番組「真打ち競演」公開収録

実施日：令和 3 年 12 月 3 日（金）

放送日：令和 4 年 2 月 5 日（土）、2 月 12 日（土）

会 場：あしや夢リアホール

来場者：259 名

成 果：漫才・漫談・落語などの公開演芸番組「真打ち競演」の公開収録を行いました。

< 1 本目 > ロケット団（漫才）、堺すすむ（ギター漫談）、林家きく麿（落語）

< 2 本目 > 鈴々舎馬るこ（落語）、はなわ（ベース漫談）、瀧川鯉昇（落語）



○特別事業（企画事業）

No.④ 芦屋音頭の再録音

内 容：芦屋音頭は昭和56年に制作し、約40年経過しており、音質の劣化等もあるため、芦屋町町制130周年の節目である令和3年度に音源制作を行いました。

No.⑤ 芦屋サンバの再録音

内 容：芦屋サンバは平成2年に制作し、30年程度経過しており、音源の劣化等もあるため、芦屋町町制130周年の節目である令和3年度に再録音を行いました。また、芦屋町を広くPRし、多くの方に知っていただくため、芦屋サンバのアレンジを含めた再録音を芦屋町ふるさと観光大使のハジ→氏に依頼しました。

No.⑥ ロゴマークの作成

内 容：町制施行130周年を、町民のみなさんと一緒に祝い、盛り上げるため、「町制施行130周年ロゴマーク」を募集しました。

No.⑦ 広報あしや特集記事

内 容：芦屋町の歴史を年表と写真で振り返りました。写真は、現代の技術を用いて、美しい芦屋町の過去の姿を想像しながらモノクロ写真の一部をカラー化して掲載しました。

No.⑧ ポロシャツの製作

内 容：町のPR・イメージアップを図るため、毎年オリジナルポロシャツを製作・販売しています。今年は町制施行130周年にちなんで記念ロゴマークをカラーでプリントしたポロシャツを販売しました。

No.⑨ フォトコンテスト

内 容：町制施行130周年を記念して、ふるさとあしや再発見・新発見をテーマにしたフォトコンテストを行いました。入賞作品は、入賞作品展やホームページでの公開、ガイドブックへの掲載等により、観光PR及び後世に残る素材として有効的な活用を行う予定です。

No.⑩ 芦屋かるたの製作

内 容：120周年で作成したかるたの販売分在庫はすでになく、町民の方々からの復刻を希望されているため、全面的変更ではなく一部の改訂で130周年バージョンの制作を行いました。小学校での郷土学習に活用し、シビックプライドの醸成に寄与する予定です。

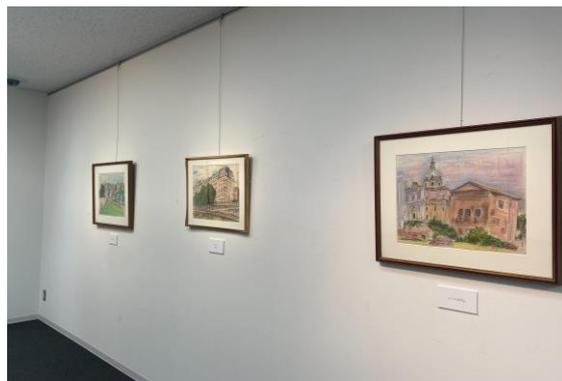
○冠事業（町主催イベント）

No.⑩町制施行 130 周年記念 第 12 回芦屋町長杯争奪戦

内 容：ボートレース芦屋が開催するレースにおいて、全国に町制施行 130 周年記念を P R することができました。なお、優勝者は、赤坂俊輔氏でした。

No.⑪ギャラリーあしや特別展「一町制 130 周年記念一田中繁吉展」

内 容：年 3 回特別展を開催し、そのうち 1～2 回を、芦屋町や周辺市町村に縁のある作家をテーマとし、展示を行っている。平成 29 年度に寄贈を受けた田中繁吉氏の絵画等について、特別展を開催しました。



No.⑫歴史民俗資料館特別展「矢野倅一展～探求心と技術者の魂～」

内 容：毎年行っている特別展では積極的に郷土に関連する偉人の紹介を行っており、今回の特別展では発明家・実業家の「矢野倅一」氏を紹介しました。「矢野倅一」氏は、現存する最古の可動自動車「アロー号」を発明し、矢野特殊自動車を設立。平成 11 年には日本自動車殿堂者にも叙せられた方です。また、「アロー号」の展示を行い、芦屋の子どもたちに技術・科学に対する好奇心を育むことができました。



No.⑳ 図書館講演会

内 容：北九州市在住の絵本作家、SDGs の専門家でもある原賀いずみさんを講師に迎え、講演会を開催しました。また、ギャラリーあしやや図書館において絵本の原画展も開催しました。



○冠事業（各種団体主催イベント）

No.㉑ 筑前あしやだごびーなとわら馬まつり

内 容：町内 5 ヶ所の施設で「わら馬」の展示を行い、中央公民館で「だごびーな」の展示を行いました。最終日の無料配布は中止としました。



◆令和3年4月1日号

広報 あしや 973号
令和3年(2021年) 4月1日

町制施行130周年
ロゴマーク決定!

町制施行130周年ロゴマーク
町制施行130周年ロゴマークを募集し、応募作品の中からロゴマークが決定しました。町制施行130周年を記念すべき記念品に、さらさらの紙を素材として作った紙茶壺、ごっこいひだり茶壺がなりました。ロゴマークの制作は高橋にお願いしています。

芦屋町 町制施行130周年記念事業

明治24年6月10日に発せられた県令によって芦屋町となってから、今年で130周年を迎えます。これを記念して、町では、町制施行130周年記念式典や特別展「重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600年の系譜～」、NHKラジオ公開番組「真打ち競演」のシンボル事業をはじめ、さまざまな事業を予定しています。皆さんのすてきな思い出になるよう取り組んでいきます。130周年を一緒に楽しみ、町全体で盛り上げていきましょう。なお、事業の詳細は、個別に広報などでお知らせしていきます。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業を中止または延期する可能性があります。

▶問い合わせ 地方衛生推進係 (☎223局3571)

- 1 町制施行130周年記念式典**
▷とき 10月24日
▷ところ 芦屋町総合運動公園グラウンド
▷内容 第64回芦屋町町民体育祭プログラム内で、善行表彰や精華女子高等学校吹奏楽コンサートを行います
- 2 特別展「重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600年の系譜～」**
▷とき 【前期】4月22日～5月23日
【後期】5月25日～6月27日
▷ところ 芦屋釜の里
▷内容 重要文化財指定芦屋釜の新収蔵を記念した特別展を開催します
- 3 NHKラジオ公開番組「真打ち競演」観覧**
▷とき 12月3日
▷ところ ボートレース芦屋 夢リア
▷内容 渡す・潤滑・落語などの公開演芸番組「真打ち競演」の公開収録を行います

広報あしや 2021.4.1

主な町制施行130周年記念事業

企画事業

130周年の気運醸成を図るために企画する事業

- 芦屋音頭の再録音
- 芦屋サンバの再録音
- ロゴマークの作成
- 表紙と裏表紙で紹介しています。
- 広報あしや特集記事
- ポロシャツの製作
- フォトコンテスト
- 芦屋かるたの製作

冠事業

「町制施行130周年記念」と冠を付け行う事業

- 町主催イベント**
 - あしや花火大会
 - あしや砂展
 - 小中合同音楽祭
 - 芦屋釜の里秋のコンサート
 - 芦屋町民茶会
 - ボートレース芦屋「冠レース」の開催
 - ボートレース芦屋「ちびっこカーニバル」
 - 芦屋町敬老会
 - 芦屋町人権まつり
 - 第64回芦屋町町民体育祭
 - ギャラリアあしや特別展
 - 歴史民俗資料館特別展
 - 図書館講演会
- 各種団体主催イベント**
 - 芦屋町国際交流パーティー
 - 祭りあしや
 - 筑前あしやはしご酒まつり
 - 筑前あしやだごびーなとわら馬まつり
 - ASHIYAシンフォニック吹奏楽団定期演奏会

町制施行130周年記念 特別展

重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念～芦屋から始まる茶の湯釜、600年の系譜～

芦屋町で新たに収蔵することになった重要文化財指定の芦屋釜。その初公開の特別展を行います。約600年ぶりに故郷に戻った最高峰の芦屋釜をご覧ください。

期間中、ギャラリートークも行います。

▷とき 【特別展】
前期：4月22日～5月23日
後期：5月25日～6月27日
【ギャラリートーク】
前期：5月8日
後期：6月12日
※いずれも午前10時30分～11時30分
▷ところ 芦屋釜の里資料室
※4月20日、21日は準備のため臨時閉館します。

町制施行130周年記念 芦屋町民茶会

町制施行130周年を祝い、春うらかな5月に芦屋町民茶会を開催します。誰でも楽しめる茶会ですので、気軽に参加してください。

▷とき・内容
5月3日 煎茶・抹茶（小笠原流）
4日 煎茶・抹茶（表千家）
5日 煎茶・抹茶（裏千家）
時間表を次の6回に分けて行います。
午前10時～11時・正午～午後1時・2時～3時
▷定員 各回14名（先着順）
▷ところ 芦屋釜の里大茶室
▷料金 中学生以上400円、小学生250円、未就学児200円（入園料とお茶代）

【共通項目】
※総席時には入場制限を行う場合があります。
※月曜日は休館です（祝日の場合は翌平日休館）。
▶問い合わせ 芦屋釜の里 (☎223局5881)

町制施行130周年記念 フォトコンテスト

町制施行130周年を記念して、芦屋町の風景などをテーマにしたフォトコンテストを行います。プロ・アマ問わず、誰でも応募できます。

●募集要項

賞金 10万円を贈呈

●作品の要件

- 平成31年4月1日～令和3年11月14日に撮影した写真
- 芦屋町の景色、町並み、産業、人々の営みやできごとを写したA4サイズ(21cm×29.7cm)のカラー写真(縦横は問わない)

●応募期間

4月1日～11月19日

●応募方法

申込書と応募写真を併せて郵送または持参

〒807-0198 (住所記人不要)
芦屋町役場産業観光課加工観光係(11月19日迄の毎日消印有効)

◆持ち方 役場1階産業観光課窓口(平日・午前8時30分～午後5時15分)

※申込書は1作品につき1枚提出してください。

●申込書は

役場1階産業観光課窓口、芦屋町観光協会

町のホームページからもダウンロードできます。

●結果発表

12月下旬

●注意事項

- ①1人の応募数に制限はありませんが、応募者本人が撮影したものに限り、応募された時点で町が主催で使用する事に同意したものとみなします。応募作品はホームページや雑誌などに掲載・展示するほか、広報などで使用する場合があります。なお、応募された作品は、返却しません。
- ②応募作品は、肖像権や著作権など第三者の権利侵害に関わる問題が発生した場合は、すべて応募者の責任とします。被写体に人物が含まれる場合、肖像権侵害などの責任は負いかねます。応募作品は被写体の承諾を得ているものとみなします。
- ③撮影許可が必要な場所での撮影は、応募者自ら申請してください。応募作品は許可を得ているものとみなします。
- ④そのほか、法令遵守のうえ撮影してください。
- ⑤未成年が応募する場合は、保護者の同意が必要です。応募作品は保護者の同意を得ているものとみなします。
- ⑥応募作品に、合成写真やAI生成画像が写り込んでいるものは受け付けできません。
- ⑦応募作品は、ネガ、デジタルデータのいずれかを提出してください。提出のない場合は、入賞を取り消す場合があります。

▶問い合わせ 加工観光係 (☎223局3542)

町制施行130周年 ロゴマークの紹介

●ロゴマーク
表紙に掲載しています。

●作者
児島貞在 住の男性

●コンセプト
芦屋町が未来に向けて更に発展・進歩すること、芦屋への愛着を深め、町民に魅力を発信し、さらには自治の年を町民と一緒に祝い、盛り上げていくことを願い、デザインしています。

●作品の説明
130周年の「130th」を基調に、「ashiya」の頭文字「A」、芦屋町を表す特徴的な要素である町花、町木、芦屋釜や芦屋町民、太陽を組み合わせてデザインし、芦屋町が永遠（無限）に発展することを表しています。

●今後の活用
決定したロゴマークは、町制施行130周年のPRや記念事業など、さまざまな機会をおして、積極的に活用していきます。

▶問い合わせ 地方衛生推進係 (☎223局3571)

広報あしやの発行が月1回に変わります

今号(973号)を最後に、広報あしやの発行サイクルが変わり、1日号・15日号の月2回発行から、月1回「〇月号」として前月25日発行します。

【例】5月号＝4月25日発行
今後皆さんとのコミュニケーションを大切に、分かりやすく親しみやすい編成づくりに取り組んでいきます。皆様さんからの情報や投稿は、掲載したい月の前々月15日までにお届けします。

【例】6月号の締め切り＝4月15日
▶お問い合わせ 広報情報係 (☎223局3569)

◆令和3年6月号



600年のなが〜い時を越え、生まれ故郷へ
4月22日 重要文化財指定芦屋釜新収蔵記念特別展 内覧会
 国の重要文化財に指定された茶の湯釜は9点あり、その内8点が芦屋釜です。芦屋町では、その内の1点を入手することができます。4月22日から芦屋釜の里で特別展を開催し公開しています。4月20日、21日は、一般公開にさきかけて、町会議員をはじめ、町内外の関係者に向けた内覧会が行われました。参加者は、約600年ぶりに芦屋に戻った最高峰の芦屋釜を堪能しました。特別展は、6月27日まで開催しています。
(新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、変更・中止となる場合があります)

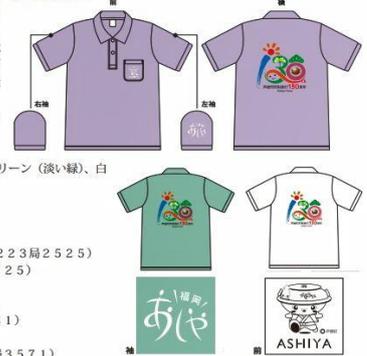


芦屋町オリジナルポロシャツを販売

町のPR・イメージアップを図るため、オリジナルポロシャツを製作・販売します。

今年は町制施行130周年にちなんで記念ロゴマークをあしらったポロシャツを、下記販売場所で購入することができます。素材はメッシュです。
 ※売り切れとなる場合がありますのでご了承ください。

- ▷価格 1着1200円(消費税込み)
 - ▷色 ライトパープル(淡い紫)、ミントグリーン(淡い緑)、白
 - ▷サイズ S、S、S、M、L、LL
 - ▷販売期間 6月1日(因)～10月31日(因)
 - ▷販売場所
 - ・芦屋町観光協会(☎221局1001)
 - ・生き活き市場 GoodSmile はまゆう(☎223局2525)
 - ・生鮮館フラップ芦屋店(☎221局4725)
 - ・てのや商店(☎223局0050)
 - ・福島スポーツ店(☎223局1723)
 - ・マリテラスあしや(☎223局1081)
- ※役場では販売しません。
 ▷問い合わせ 地方創生推進係(☎223局3571)



◆令和3年7月号

**町制施行130周年記念
 フォトコンテスト**

町制施行130周年を記念して、芦屋町の風景などをテーマにしたフォトコンテストを行います。プロ・アマ問わず、誰でも応募できます。

●最優秀賞

賞金 10万円を進呈

●作品の要件

- 平成31年4月1日～令和3年11月14日に撮影した写真
 - 芦屋町の景色、町並み、産業、人々の営みやできごとを写したA4サイズ(21cm×29.7cm)のカラー写真
- ※写真の縦横は問いません。

●応募期限 11月19日(因)

●応募方法

- ◆申込書と応募写真を併せて郵送または持参
- ◆郵送＝〒807-0198(住所記入不要) 芦屋町役場産業観光課商工観光係宛(11月19日(因)の当日消印有効)
- ◆持参＝役場1階産業観光課窓口(平日・午前8時30分～午後5時15分)

※申込書は1作品につき1枚提出してください。

●申込書の配布場所 役場1階産業観光課窓口、芦屋町観光協会

※町のホームページからもダウンロードできます。

●結果発表 12月下旬

●注意事項 応募にはさまざまな要件があります。ホームページで確認してください。

●問い合わせ 商工観光係(☎223局3542)



町の歴史は未来へ続く 人の命の繋がり

町制施行130周年企画

明治22年「大日本帝國憲法」が公布され、通買郡に19の「村」が誕生しました。芦屋には「芦屋村」と「山崎村」の2村が発足しました。芦屋村は2年後の明治24年、単へ「村」から「町」への変更申請を行い、同年6月10日の県令で「芦屋町」としての町制が施行されることとなりました。そして明治38年に山崎村と合併し現在へと続く芦屋町の形になりました。

明治・大正・昭和・平成の時を過ぎ、令和3年町制施行130周年を迎えた芦屋町の歴史を、年表と写真で振り返ってみます。

写真は、現代の技術を用いて、美しい芦屋町の過去の姿を想像しながらモノクロ写真の一部をカラー化してみました。色に関する資料は残っていないため、皆さんも一緒にイメージを膨らませて、過去の芦屋町の景色や人びとに思いを馳せてみてください。

さおを使って西川の西側堤防の下を前行する川船。明治・大正時代は琵琶湖の石炭の花車輸送として活躍していた

大正10年から瑞山の観光化が始まる。地下に降りる階段があり、ガフス越しに橋から角を見ることができると水取船があった

大正9年ごろ。芦屋～前尾崎の乗り合い自動車。車内の隣にいる男性が社長で岡田幸次郎氏

大正時代の芦屋郵便局。前列中央が吉永徳一局長

明治

22 1889(明治22年) 町制施行(4月10日)

21 1888(明治21年) 山崎村と合併して芦屋町となる

20 1887(明治20年) 通買郡を廃止。現在の通買郡として、通買1市2町が設置

今は通買川の川意となっている浜ノ町の目抜き通り。左手前が江戸時代創業の通り酒屋「黒金屋」。マント姿の子どもが中央を歩いている。幼い子を抱いた女性の笑顔が見える

広報あしや 2021.8 ②

大正

12 1923(大正12年) 山崎村と合併して芦屋町となる

11 1922(大正11年) 山崎村と合併して芦屋町となる

10 1921(大正10年) 山崎村と合併して芦屋町となる

9 1920(大正10年) 山崎村と合併して芦屋町となる

8 1919(大正9年) 山崎村と合併して芦屋町となる

7 1918(大正8年) 山崎村と合併して芦屋町となる

6 1917(大正7年) 山崎村と合併して芦屋町となる

5 1916(大正6年) 山崎村と合併して芦屋町となる

4 1915(大正5年) 山崎村と合併して芦屋町となる

3 1914(大正4年) 山崎村と合併して芦屋町となる

2 1913(大正3年) 山崎村と合併して芦屋町となる

1 1912(大正2年) 山崎村と合併して芦屋町となる

③ 広報あしや 2021.8

昭和30年代ごろの瑞山から見た芦屋橋の風景。28年の大水害で折れ壊れやぶれた近代芦屋橋(左側)。遠野川でレースを行っていた競艇場への送迎バスが手前に見える。乗客をした軍車が立っている

昭和40年代初期まで、中央公園あたりにあった砂山。遠野川とどんどん山。ササガの白粉子どもたちが砂遊びをして遊んでいた

昭和30年代に廃絶されたと思われる正門通りを行進する米軍。町令は「イチ、ニ」ならぬ「ベッ・ハッ」だったそうだ

昭和25年国鉄芦屋線一般開業を祝して、シャキリ隊(服装行列)が町を練り歩いた。芦屋橋を通行止めにして通過中

財政立て直しを目的に昭和27年競艇場を遠野川に開拓。ターマークはドラム缶にベンチを渡って使っていた

日米合作映画「トラ・トラ・トラ」のロケ地となった芦屋駅前。黒塗りの背中に巨大な戦艦龍門と空母姉妹の映画セットが見える

米軍勸進隊の昭和36年。航空自衛隊芦屋基地が発足

昭和44年、町制施行80周年記念式典が芦屋中学校グラウンドでぎややかに行われた

大若忠兵衛の昔さん。明治27年ごろ開始し、昭和37年6月に採算が打ち切られた

昭和

31 1956(昭和31年) 芦屋町立第一中学校が開校

30 1955(昭和30年) 芦屋町立第二中学校が開校

29 1954(昭和29年) 芦屋町立第三中学校が開校

28 1953(昭和28年) 芦屋町立第四中学校が開校

27 1952(昭和27年) 芦屋町立第五中学校が開校

26 1951(昭和26年) 芦屋町立第六中学校が開校

25 1950(昭和25年) 芦屋町立第七中学校が開校

24 1949(昭和24年) 芦屋町立第八中学校が開校

23 1948(昭和23年) 芦屋町立第九中学校が開校

22 1947(昭和22年) 芦屋町立第十中学校が開校

21 1946(昭和21年) 芦屋町立第十一中学校が開校

20 1945(昭和20年) 芦屋町立第十二中学校が開校

19 1944(昭和19年) 芦屋町立第十三中学校が開校

18 1943(昭和18年) 芦屋町立第十四中学校が開校

17 1942(昭和17年) 芦屋町立第十五中学校が開校

16 1941(昭和16年) 芦屋町立第十六中学校が開校

15 1940(昭和15年) 芦屋町立第十七中学校が開校

14 1939(昭和14年) 芦屋町立第十八中学校が開校

13 1938(昭和13年) 芦屋町立第十九中学校が開校

12 1937(昭和12年) 芦屋町立第二十中学校が開校

11 1936(昭和11年) 芦屋町立第二十一中学校が開校

10 1935(昭和10年) 芦屋町立第二十二中学校が開校

9 1934(昭和9年) 芦屋町立第二十三中学校が開校

8 1933(昭和8年) 芦屋町立第二十四中学校が開校

7 1932(昭和7年) 芦屋町立第二十五中学校が開校

6 1931(昭和6年) 芦屋町立第二十六中学校が開校

5 1930(昭和5年) 芦屋町立第二十七中学校が開校

4 1929(昭和4年) 芦屋町立第二十八中学校が開校

3 1928(昭和3年) 芦屋町立第二十九中学校が開校

2 1927(昭和2年) 芦屋町立第三十中学校が開校

1 1926(昭和1年) 芦屋町立第三十一中学校が開校

④ 広報あしや 2021.8

63 1988(昭和63年) 芦屋町立第一中学校が開校

62 1987(昭和62年) 芦屋町立第二中学校が開校

61 1986(昭和61年) 芦屋町立第三中学校が開校

60 1985(昭和60年) 芦屋町立第四中学校が開校

59 1984(昭和59年) 芦屋町立第五中学校が開校

58 1983(昭和58年) 芦屋町立第六中学校が開校

57 1982(昭和57年) 芦屋町立第七中学校が開校

56 1981(昭和56年) 芦屋町立第八中学校が開校

55 1980(昭和55年) 芦屋町立第九中学校が開校

54 1979(昭和54年) 芦屋町立第十中学校が開校

53 1978(昭和53年) 芦屋町立第十一中学校が開校

52 1977(昭和52年) 芦屋町立第十二中学校が開校

51 1976(昭和51年) 芦屋町立第十三中学校が開校

50 1975(昭和50年) 芦屋町立第十四中学校が開校

49 1974(昭和49年) 芦屋町立第十五中学校が開校

48 1973(昭和48年) 芦屋町立第十六中学校が開校

47 1972(昭和47年) 芦屋町立第十七中学校が開校

46 1971(昭和46年) 芦屋町立第十八中学校が開校

45 1970(昭和45年) 芦屋町立第十九中学校が開校

44 1969(昭和44年) 芦屋町立第二十中学校が開校

43 1968(昭和43年) 芦屋町立第二十一中学校が開校

42 1967(昭和42年) 芦屋町立第二十二中学校が開校

41 1966(昭和41年) 芦屋町立第二十三中学校が開校

40 1965(昭和40年) 芦屋町立第二十四中学校が開校

39 1964(昭和39年) 芦屋町立第二十五中学校が開校

38 1963(昭和38年) 芦屋町立第二十六中学校が開校

37 1962(昭和37年) 芦屋町立第二十七中学校が開校

36 1961(昭和36年) 芦屋町立第二十八中学校が開校

35 1960(昭和35年) 芦屋町立第二十九中学校が開校

⑤ 広報あしや 2021.8



平成9年にオープンしたレジャープールアシアシアン。県内総費126億のウォーターライダーが大人気



平成4年バルネロフ五輪、8年アトランタ五輪にJOC全日本バレーボール代表選手として出場した中西千穂子さん（中央）



平成11年マリントラスあしやがオープン



江戸時代頃から連続した茶の産産の名産。芦屋氏の後裔を巻的に、平成7年芦屋産茶の産地が関係

平成	令和
23	1
22	2
21	3
20	4
19	5
18	6
17	7
16	8
15	9
14	10
13	11
12	12
11	13
10	14
9	15
8	16
7	17
6	18
5	19
4	20
3	21
2	22
1	23

広報あしや 2021.8



令和元年、あしや砂浜展2019では開催期間18日間で7万2475人が来場し人気を得たが、2年、3年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止した



平成22年、第1回あしや夜校電燈車場で開催



令和2年度の重要文化財 芦屋産新収蔵



平成27年から始まった芦屋の華高づくり、芦屋海岸にクロマツの植樹が多くなるボランティアの手で行われた

令和	平成
1	23
2	22
3	21
4	20
5	19
6	18
7	17
8	16
9	15
10	14
11	13
12	12
13	11
14	10
15	9
16	8
17	7
18	6
19	5
20	4
21	3
22	2
23	1

⑦ 広報あしや 2021.8

◆令和3年10月号

町制施行130周年記念 芦屋町歴史民俗資料館特別展

矢野倅一 探求心と技術者の魂

芦屋町に生を受け偉大な足跡を遺し、新米に語り継ぐべき人物に矢野倅一氏の存在があります。矢野氏は独創的な発明家であり、尚かつ、今日の自動車社会を語る上で欠かせない偉業を成し遂げた技術開発者として平成23年に自動車博物館設立入りした人物でもあります。矢野氏の業績と思想を遺い、成し遂げたことを称えるとともに、生誕地芦屋との関わりを重んじた展示を行います。

▷とき 10月27日(金)～令和4年1月30日(日)
午前9時～午後5時
※①月曜日は休館。ただし、月曜祭日の場合はその翌日が休館です。
②11月30日(日)は、第2期展示に伴う展示替え作業のため、臨時休館します。

③年末年始(12月28日(金)～令和4年1月3日(日))は休館です。

▷どこ 芦屋歴史の里
▷入館料 中学生以上200円・小学生100円
【ギャラリーツアー】全3回 各20人
(事前申し込み先着順) 午前10時～11時

日次	申込受付期間
第1回 11月7日(日)	10月29日(金)～11月6日(日)
第2回 12月5日(日)	11月26日(金)～12月4日(日)
第3回 1月8日(日)	12月25日(金)～1月7日(日)

※受付時間はいずれも午前9時～午後5時
▷問い合わせ 芦屋歴史の里(☎222555)

人口(前年同月との比較)

令和3年10月現在	令和2年10月現在
13,662人	13,917人
▲255人	▲255人
▲1.8%	▲1.8%

8月分の人の動き

出生	▲1人	死亡	▲67人
転入	▲10人	転出	▲75人

【訂正とあわび】
広報あしや9月号に「8月分の人の動き」とありましたが、正しくは「7月分の人の動き」でした。訂正とさせていただきます。

◆令和3年11月号

芦屋町町制施行130周年記念 NHKラジオ 公開収録

真打ち競演

観覧者募集!! 入場無料

※入場整理券が必要です。

日時 令和3年12月3日(金)
開演:午後5時30分 / 開演:午後6時
終演予定:午後8時(2本収録)

会場 あしや夢リアホール
(福良鉄道芦屋駅南口徒歩3分)

1本目 日本酒の文化
2本目 音楽の文化

芦屋町とNHK北九州放送局では、芦屋町町制施行130周年を記念して「真打ち競演」の公開収録を行います。この番組では、ベテラン芸人による、落語・漫才・雑談の生放送をお楽しみいただけます。観覧を希望する人は、下記の要領で申し込みください。なお、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、公演の中止や内容を変更する場合があります。詳しくはNHK北九州放送局ホームページで確認してください。

申し込み 11月10日(必着)までに、
郵便便(私物を除く)に以下を記入して申し込みください。
【宛先】〒807-0198 運営部芦屋町
〒2番20号 芦屋町役場 企画政策課「真打ち競演」係
【住所】〒2番20号 芦屋町役場 企画政策課「真打ち競演」係
【電話番号】①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号 ⑤観覧者個人数(2人まで)
※1歳以上の子どもから人数に含みます。
【返信用表紙】①郵便番号 ②住所 ③名前

※応募多数の場合は、抽選です。当選者には希望人数(2人まで)で入場できる入場整理券を、落選者には落選通知を、はがきで11月19日(金)までに発送します。
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、観覧者同士の間隔をとった座席を、入場整理券で事前指定します。
※応募された個人情報、抽選結果の連絡の証、NHKでは受発明者情報と照合し、受発明者の権利に活用することがあります。

応募期限の切り
11月10日(必着)

応募者個人数
①住所
②電話番号
③名前
④観覧者個人数(2人まで)

観覧券
①住所
②電話番号
③名前
④観覧者個人数(2人まで)

申込先
〒807-0198 運営部芦屋町
〒2番20号 芦屋町役場 企画政策課「真打ち競演」係
TEL:093-223-2266 FAX:093-223-2267
E-MAIL:masudachikyou@nhk.jp

申込先
〒807-0198 運営部芦屋町
〒2番20号 芦屋町役場 企画政策課「真打ち競演」係
TEL:093-223-2266 FAX:093-223-2267
E-MAIL:masudachikyou@nhk.jp

◆令和3年12月号

わら馬の武将?大谷翔平(メジャーリーガー)ののぼり有り!

10月1日～24日 筑前芦屋たごびーなとわら馬まつり

約300年前から伝わる芦屋町の伝統行事「八朝の節句」。わらで作ったわら馬と米の粉で作ったたごびーな(団子糰)を飾って初めて節句を迎える子どもの健やかな成長を願います。この節句を後世に継承する目的で、中央公民館など町内5カ所に展示して皆さんに披露しています。今年は新型コロナウイルスの影響で展示期間を変更し、200頭のわら馬と町内の幼稚園保育所(園)の園児たちが作ったたごびーな200体を飾りました。



◆令和4年1月号

日本自動車業界のレジェンド矢野倅一氏は芦屋町出身!

10月27日から 町制施行130周年記念特別展
【矢野倅一―探求心と技術者の魂―】

郷土の誇り、技術開発者の矢野倅一さんを紹介する特別展が芦屋歴史の里で開催中です。明治・大正時代にはほぼ独力で国産自動車「アロー号」を完成させた矢野倅一さん。知れば知るほど驚くべき偉業を成し遂げた矢野さんは、芦屋町市場区出身です。現存する日本最古の国産車「アロー号」は現在も走行でき、この特別展で11月28日まで展示していました。

また、11月14日には、矢野倅一さんの後継者、㈱矢野特殊自動車相談役・矢野幸祐さん(長男:右上の写真中央)と代表取締役社長・矢野倅一さん(孫:写真左)ら家族そろって来場し、今回の展示を、隔々まで観覧されました。矢野倅一さんの偉業は、広報あしや8月号からの芦屋歴史紀行に連載中です。特別展は1月30日回まで開催しています。



町への貢献に感謝

11月1日 芦屋町功労表彰・
芦屋町制施行130周年記念番行表彰

功労表彰式と番行表彰式が役場で行われました。功労表彰を受けたのは、芦屋町区長会会長などとして貢献された石川智雄さん、高齢者福祉の向上に貢献された長沢正行さん、保護司として貢献された片山和夫さん、スポーツ推進委員として貢献された一美佐さん、学校薬剤師として貢献された黒本繁樹さん、消防団員として貢献された青嶋哲也さん、中西貴さん、本田秀樹さん、中西信二さんの9人です。

また、番行表彰を受けたのは、高浜区長など多岐にわたり貢献された古長機勇さん、行政相談委員などとして貢献された今村智恵さん、社会教育委員として貢献された林英次さん、交通安全に貢献された重岡美佐子さん、蒲原利子さん、守田政孝さん、町内幹線道路の緑化推進活動に貢献された芦屋緑友会の6人・1団体です。



◆令和4年2月号

桃太郎像が見てきた戦争の風景を伝えたい

10月23日～12月19日 『ももたろうからのてがみ』 絵本原画展
12月12日 町制施行130周年記念 芦屋町図書館講演会

絵本『ももたろうからのてがみ』原画展が、中央公民館のギャラリーあしやと図書館で行われました。水彩絵の具やパステルで彩られたやわらかいタッチの原画が並びます。主人公のももたろうは、大分県玖珠町に立っている桃太郎像のことで、玖珠町に来る前は北九州市の津遊園にあったとのこと。第二次世界大戦中に動物たちが殺処分されたり、八幡大空襲で町が焼かれたりする風景を見ました。

図書館講演会では、「ももたろうからのてがみと身近なSDGs」をテーマに、ゲームなどを交えて分かりやすい講演がありました。

作者の原貫いずみさんは「もともと桃太郎は、イス、サル、キジと支え合い、違いを認め合うことで鬼退治ができた。像はそのシンボルのはず。でも戦争を助長するシンボルにされてしまった時期もある。桃太郎の本来の姿と戦争の悲惨さを伝えたい」と話してくれました。



出演者の巧みな話芸に、いっぱい笑いました

12月3日 町制施行130周年記念NHKラジオ『真打ち競演』公開収録

あしや夢リアホールでNHK北九州放送局開局90年、芦屋町制施行130周年記念事業としてラジオの公開収録が2本行われ、落語や漫才などベテラン芸人が至芸を披露しました。出演者は町の名所・名物などにふれ、会場を沸かせていました。収録内容は、【1本目】2月5日(日)、【2本目】12日(日)いずれも午前10時5分～55分にラジオ第1などで放送されます。



町制施行 130 周年記念 フォトコンテスト結果発表

町制施行 130 周年を記念して、「ふるさとあしや再発見・新発見」をテーマに、芦屋町の風景、町並み、経済活動、人々の暮らしや出来事の写真を募集しました。
総数 306 点ものすてきな写真の応募ありがとうございました。
審査の結果、見事入賞を果たされた 16 作品をここに発表します！！
▶問い合わせ 商工観光係 (☎223・3542)



最優秀賞
サンセット 古川 佐代美さん (八幡西区泉ヶ浦)

【講評】望遠レンズを使用し、芦屋漁港の夕暮れ時を切り取った一枚。光をうまく調節し、夕日や明るい水面と山肌と堤防のシルエットの構図バランスが絶妙。色調整もどことなく、港に渡る漁船と釣り人がピンク色の世界観と相まって一篇ノスタルジックに感じられる。

広報あしや 2022.4 ②



優秀賞
海辺のハマユウ 松尾 昭勝さん (八幡西区上上津役)

【講評】芦屋町の花「ハマユウ」を広角レンズを用いて切り取った1枚。できる限り接写し、どこまでも花畑が広がる奥行き感がある。ストロボをうまくシンクロさせ、朝焼けのオレンジと花の色をきちんと描き出した高い技術が感じられる。



入賞
潮干の洞山 渡邊 幸一さん (門司区東本町)

【講評】水運をうまく利用した、見慣れた洞山が海に浮遊する島のように感じられるダイナミックな一枚。陽光で撮影し、青空、木々の緑、土の茶色が目に飛び込んでくる。またこのカメラポジションまで進めながら多様な作者の意欲も感じ取れる。

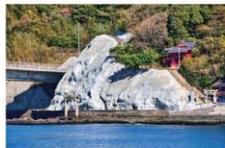
③ 広報あしや 2022.4

町制施行 130 周年記念 フォトコンテスト結果発表

入選 12 作品



Ashiya Dusk
MC DEBBIE ALBOR さん (八幡西区日吉台)



厳島神社と海中島居
水戸 祥人さん (八幡西区本城)



得も言われぬ...
甲斐田 志保子さん (白浜町)



漁火と響愛の鐘の音
若松 健二さん (遠賀町田園)



夏井ヶ浜の星の夜
島村 直幸さん (宗像市自由ヶ丘)



夏井ヶ浜の夏
神田 豊さん (篠栗町中央)

広報あしや 2022.4 ④



夕陽に照らされる芦屋町
角 浩一さん (花美坂)



アサギマダラの乱舞
串間 雄一郎さん (若松区高須東)



愛の鐘
古川 肇憲さん (八幡西区泉ヶ浦)



落日の狩尾岬
飛木 晴男さん (花美坂)

審査員賞



Shizuku
谷本 マコトさん (門司区大久保)



華麗
谷 貴子さん (小倉北区中井)



夕陽の釣人
田中 美佐子さん (山鹿)

⑤ 広報あしや 2022.4